

解答の追記

1ページ 《これまでのポイント》

☆ かならず起こる確率は 1

☆ 決して起こらない確率は 0

1個のさいころを投げるとき

① 5の目が出る確率は  $\frac{1}{6}$

② 偶数の目が出る確率は  $\frac{1}{2}$

考え方

- (ア) 目の出かたは、1, 2, 3, 4, 5, 6の6通りである。  
(イ) どの目が出ることも同じ程度である。  
(ウ) 5の目が出る場合は、5の1通りである。

よって  $\frac{1}{6}$

考え方

- (ア) 目の出かたは、1, 2, 3, 4, 5, 6の6通りである。  
(イ) どの目が出ることも同じ程度である。  
(ウ) 偶数の目が出る場合は、2, 4, 6の3通りである。

よって  $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

その他

- ・ワークの p, 122 と p, 123 は、すでに授業で行った内容の対応ページですが、今回の課題を理解するための復習として取り組むとよいです。  
(今回の課題のワークの対応ページは p, 124～p, 137 です。)
- ・課題プリントのじゃんけんの問題は教科書には載っていない問題ですが、ワークの p, 125 に載っていますので、ワークも参考にしながら取り組んでみましょう。
- ・確率の問題は、もれのないように樹形図をかきましょう。  
(自由課題では、樹形図を書くのは大変です。工夫してみましょう。)
- ・自由課題は、提出には含まれません。